



Elysium
3DxSUITE™

Elysium 3DxSUITE
パッチインストールガイド

2021年 10月
株式会社エリジオン

目次

1. はじめに	1
2. EX9.0.5 コピーインストーラーの実行方法	2
2.1. 更新時の注意事項	2
2.2. 更新手順	2
3. 3DxSUITE TransServer インストーラーの実行方法	3
3.1. 新規にインストールする場合	3
3.2. バージョンアップする場合	15
3.2.1. インストール前の注意事項	15
3.2.2. バージョンアップの実施手順	15

1. はじめに

本ドキュメントでは、Elysium 3DxSUITE EX9.0.5 のインストール手順を説明します。Elysium 3DxSUITE EX9.0.5 は以下の製品に関する更新を含んでいます。

- Elysium 3DxSUITE Adapter
- Elysium 3DxSUITE SmartLauncher
- Elysium 3DxSUITE ScenarioEditor
- Elysium 3DxSUITE Setting Utility
- Elysium 3DxSUITE WorkerNode
- Elysium 3DxSUITE TransServer

このうち Elysium 3DxSUITE TransServer 以外の製品については、単一のバッチファイル (以降、"EX9.0.5 コピーインストーラー" と記載します) でまとめて更新することができます。また 3DxSUITE TransServer については個別に更新を行う必要があります。3DxSUITE TransServer の更新手順については [3, 3DxSUITE TransServer インストーラーの実行方法](#) を参照してください。

2. EX9.0.5 コピーインストーラーの実行方法

2.1. 更新時の注意事項

EX9.0.5 コピーインストーラーを実行する際には、以下の点にご注意ください。

- 本インストーラーは管理者権限のあるユーザーで実行してください。
- 本インストーラーを実行すると、インストール済みの 3DxSUITE 製品が自動的に認識され、認識された製品に対して修正が適用されます。インストールされていると認識されない製品に対しては修正が適用されません。
- 本インストーラー実行後に 3DxSUITE EX9.0 をアンインストールすると、一部のファイルが削除されずに残る可能性があります。その場合にはそれらのファイルを手動で削除してください。

2.2. 更新手順

インストールの実行手順は以下の通りです。

1. ダウンロードした以下の 3 ファイルをすべて同じフォルダーに配置します。
 - 3DxSUITE_ex905_installer.exe
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.001
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.002
2. "3DxSUITE_ex905_installer.exe" をダブルクリックして実行します。3DxSUITE_ex905_installer フォルダーが作成されます。
3. 3DxSUITE_ex905_installer フォルダーに含まれている Patch フォルダーを、更新対象となるプログラムがインストールされているコンピューターの任意のフォルダーにコピーします。
4. "apply_ex9_0_5_patch.bat" を右クリックし、"管理者として実行" を選択します。
5. [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
6. 表示されたコマンドプロンプトに "続行するには何かキーを押してください" と表示されたらエンターキーを押してコマンドプロンプトを閉じます。



- このプログラムには、SmartLauncher、ScenarioEditor、Setting Utility、WorkerNode および一部の Adapter に関する更新が含まれています。更新対象となる Adapter の詳細についてはリリースノートを参照してください。
- インストールの実行状況は以下のログに記録されます。複数回インストールを実行すると、複数回分の実行結果が記録されます。
 - %PUBLIC%\Documents\Elysium\3DxSUITE\Config\patch_install.log

3. 3DxSUITE TransServer インストーラーの実行方法

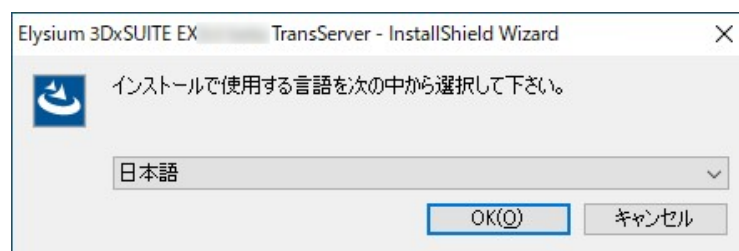
Elysium 3DxSUITE TransServer (以下、TransServer) の更新用プログラムは、TransServer の新規インストールと、インストール済みの TransServer のバージョンアップの両方に使用することができます。以下では、それぞれの場合に分けてインストール手順を説明します。



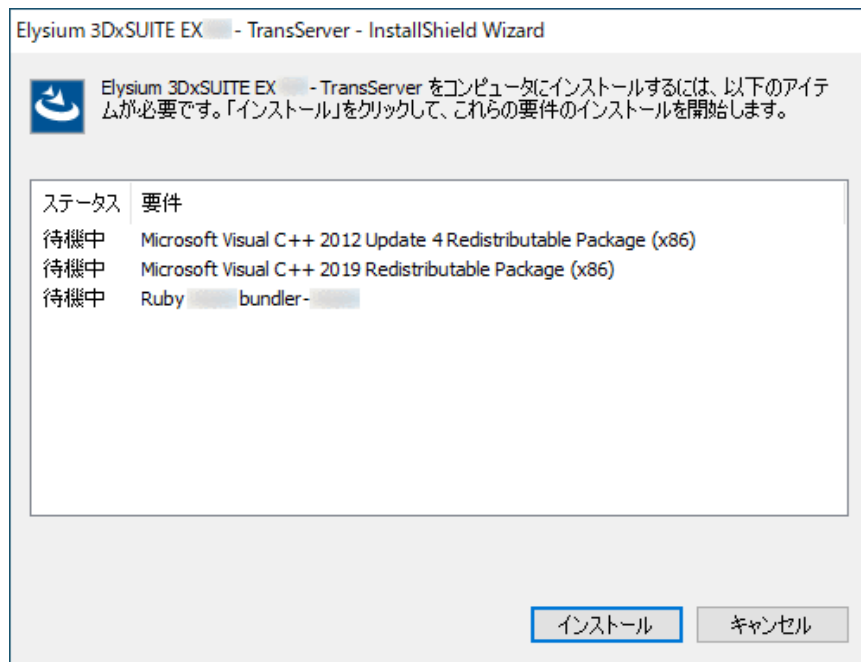
- インストールは Administrator 権限のユーザーで行ってください。
- TransServer の更新用プログラムはサイレントインストールには対応していません。手動インストールを行ってください。

3.1. 新規にインストールする場合

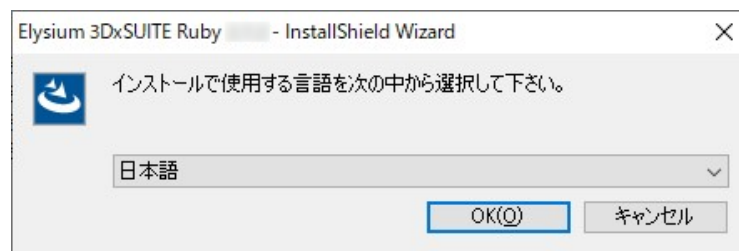
1. ダウンロードした以下の 3 ファイルをすべて同じフォルダーに配置します。
 - 3DxSUITE_ex905_installer.exe
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.001
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.002
2. "3DxSUITE_ex905_installer.exe" をダブルクリックして実行します。3DxSUITE_ex905_installer フォルダーが作成されます。
3. 3DxSUITE_ex905_installer フォルダーに含まれている TransServer フォルダーを、TransServer をインストールするコンピューターの任意のフォルダーにコピーします。
4. TransServer のインストーラーを実行します。
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX*.*_TransServer.exe (EX*.* は TransServer のバージョン)
5. インストールで使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



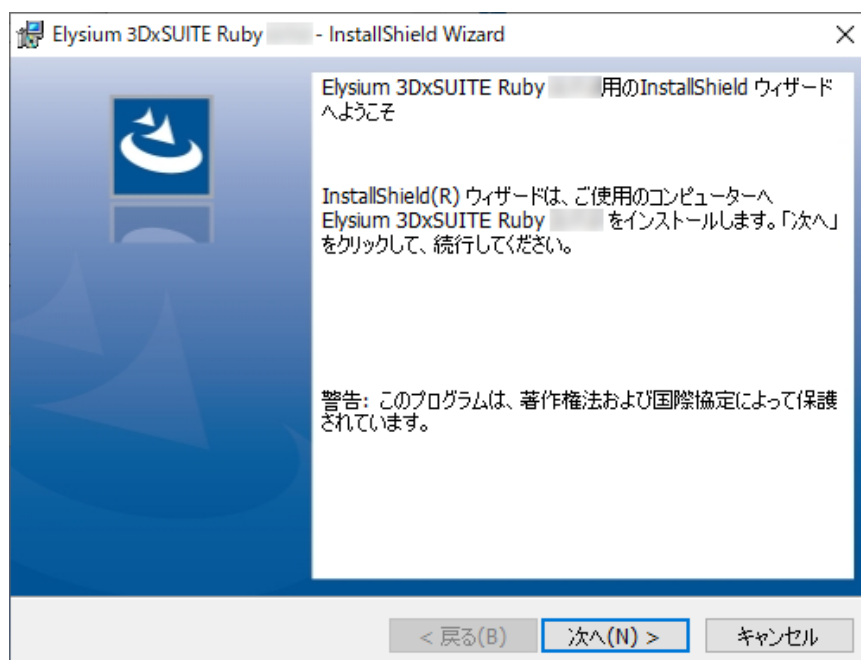
6. このダイアログが表示された場合、[インストール] をクリックして Ruby のインストールを行います。(既にインストールされている環境では、このダイアログは表示されません)



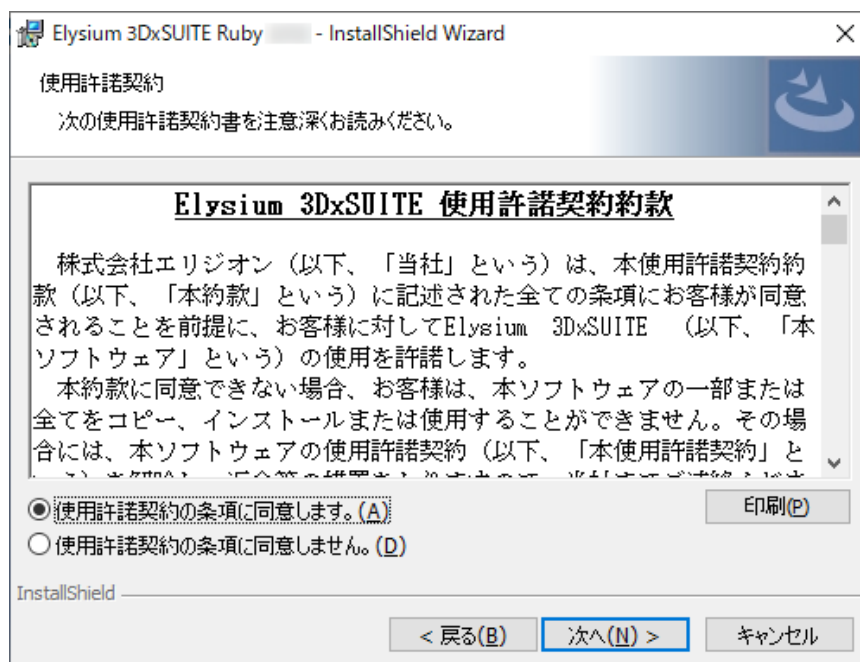
- Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーが起動します。既にElysium 3DxSUITE Ruby が導入されている場合は、12. へ進んでください。
- インストールで使用する言語を選択して[OK]を押します。



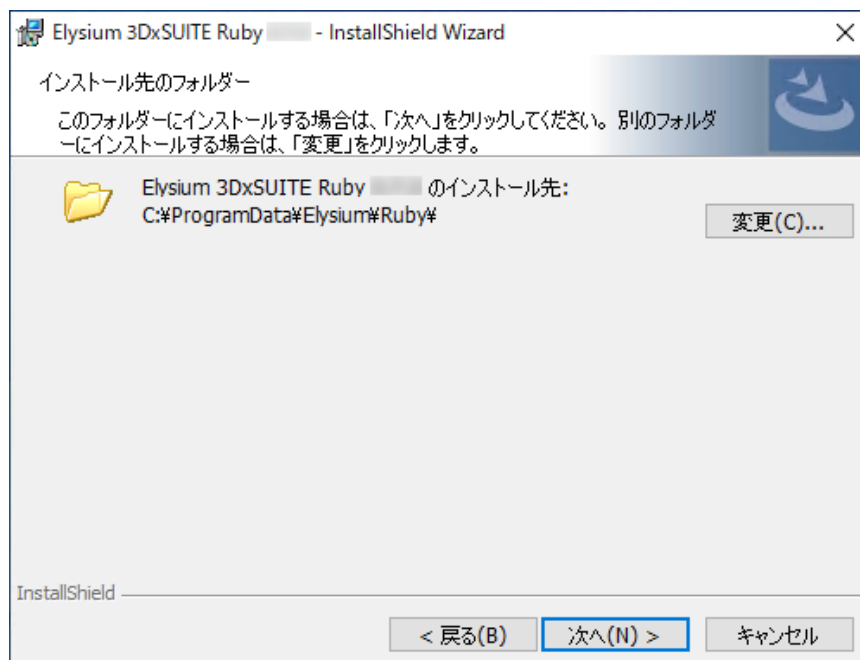
- インストールウィザードが起動します。[次へ]を押します。



10. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。



11. インストール先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。デフォルトのインストール先から変更する場合は、[変更] をクリックして変更先フォルダーを指定します。指定が完了したら、[次へ]を押します。

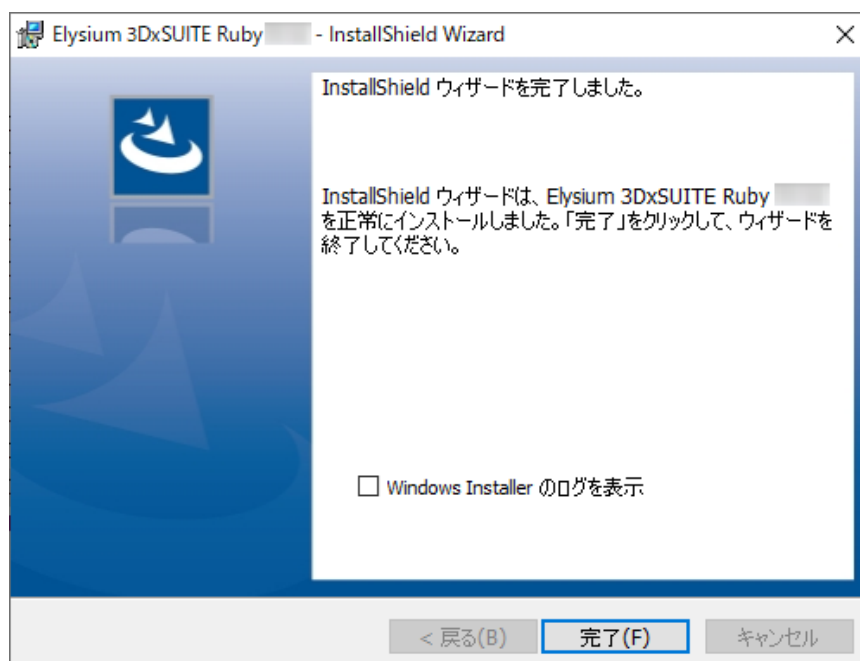


インストール先フォルダーのパスは半角英数字および一部の半角記号（「#」「+」「-」「_」「.」「\$」「/」「:」）のみで構成されるようにしてください。これら以外の文字がパスに含まれている場合にはエラーとなります。

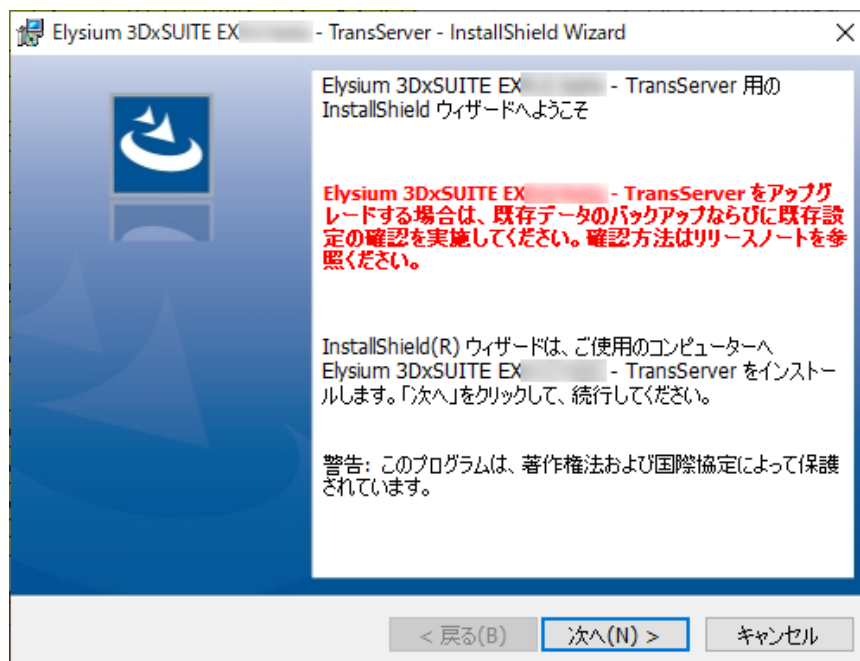
12. [インストール] をクリックしてインストールを開始します。



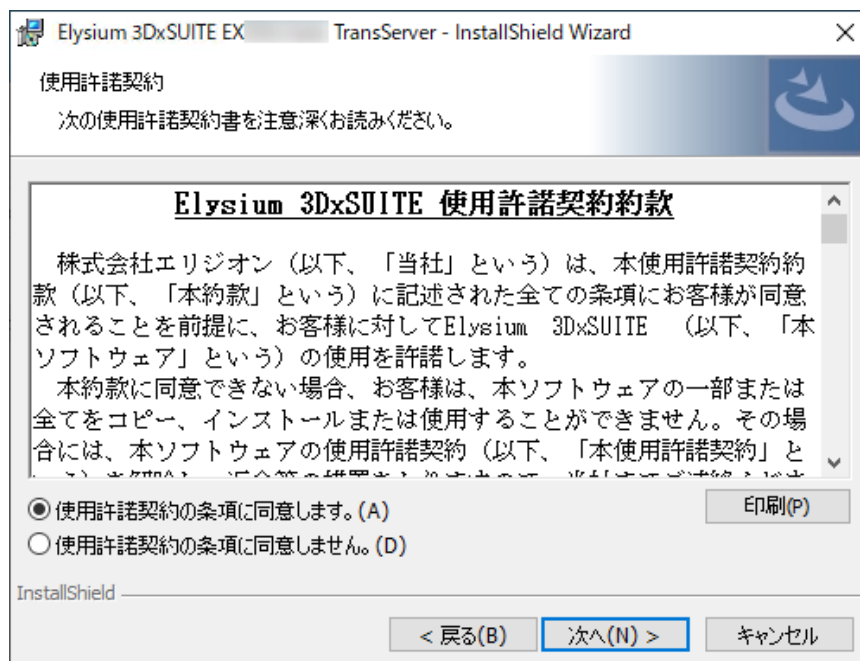
13. インストールが完了すると、以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックして Elysium 3DxSUITE Ruby のインストーラーを終了し、3DxSUITE TransServer のインストーラーに戻ります。



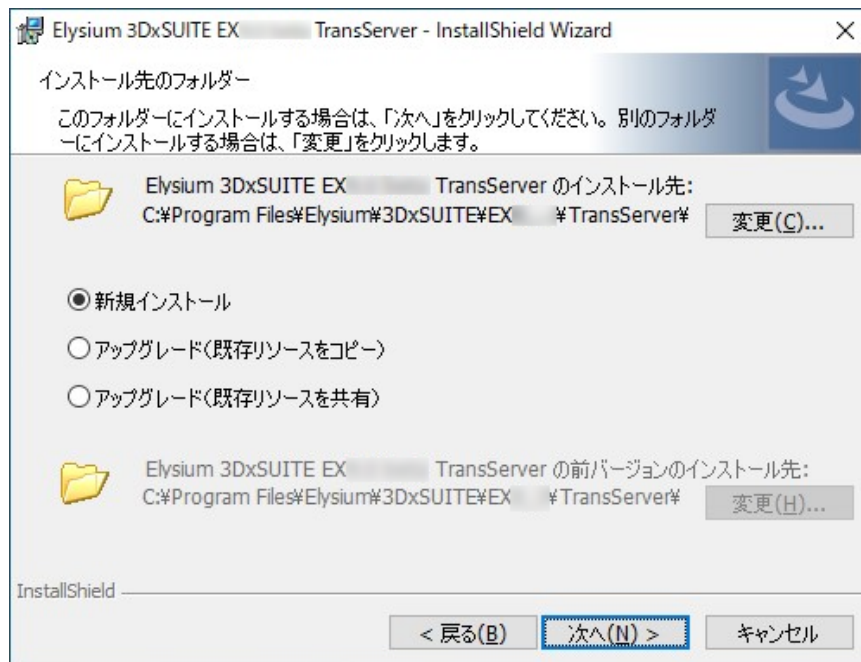
14. インストールウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



15. 使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約に同意する場合には「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して [次へ] をクリックします。同意しない場合、インストールを続けることはできません。

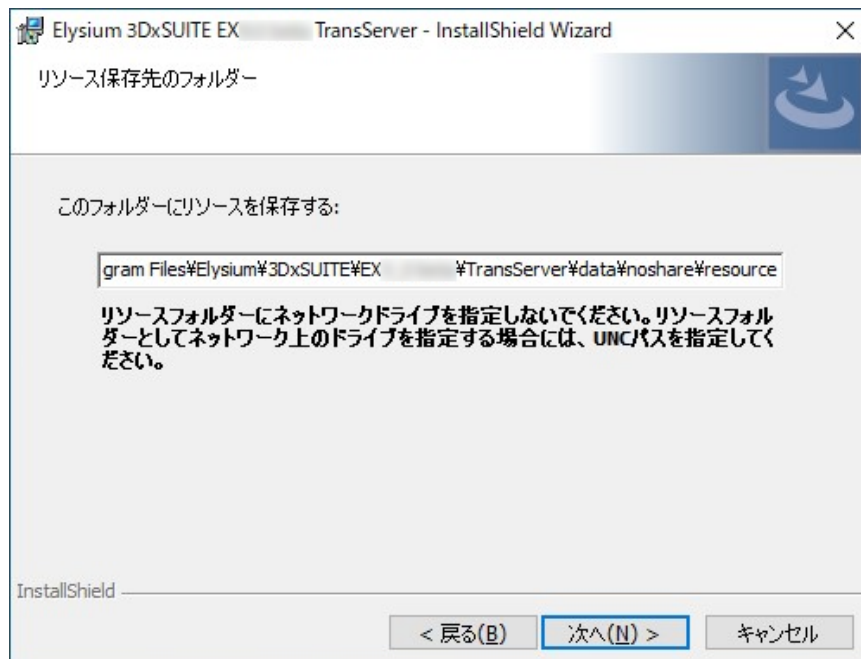


16. インストールフォルダーを指定するダイアログが表示されます。必要に応じて画面上部「Elysium 3DxSUITE TransServerのインストール先」を変更します。新規インストールが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



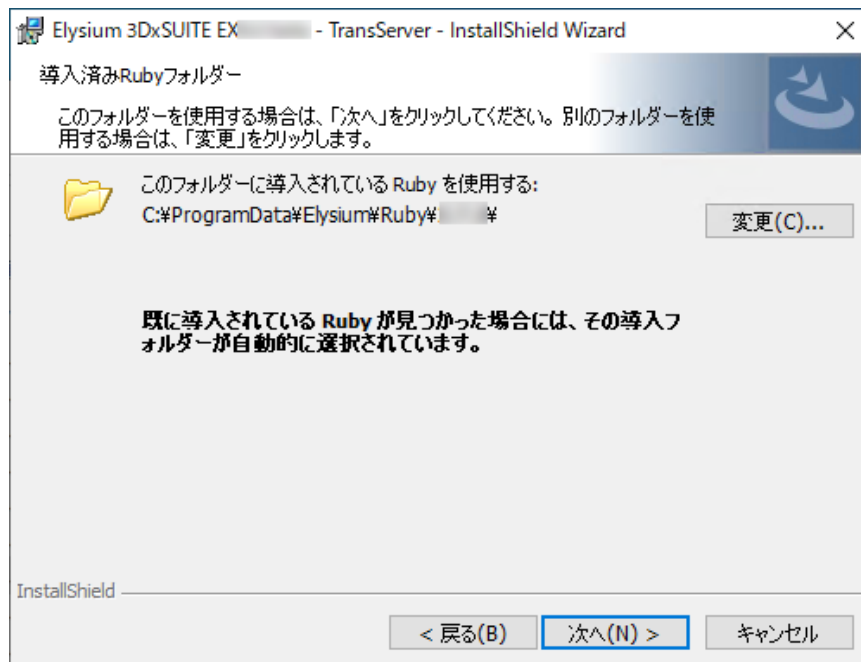
インストールフォルダーのパスは 80 文字以下となるように設定してください。80 文字より長いパスを指定した場合、TransServer が正常に動作しないことがあります。

17. リソースの保存先フォルダーを指定し [次へ] をクリックします。

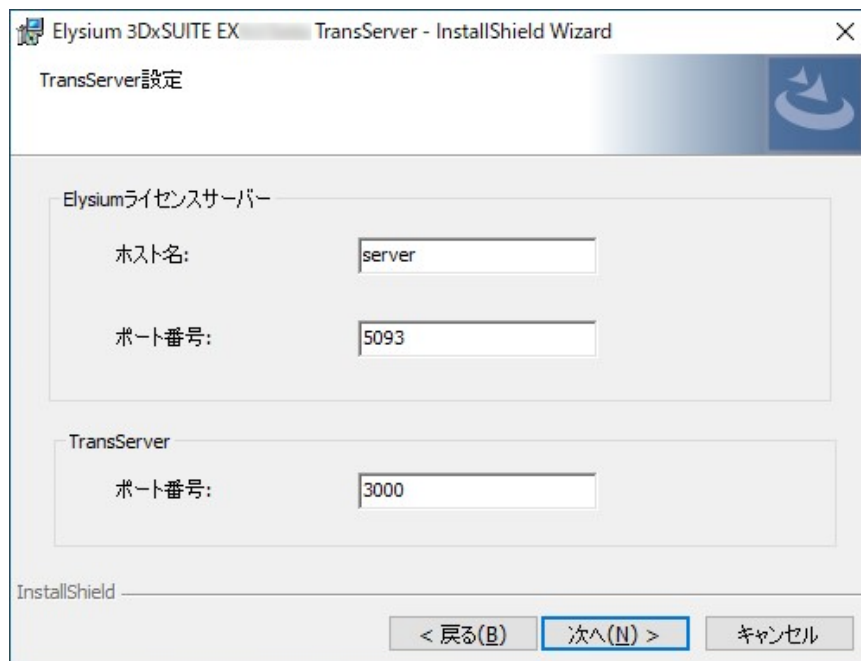


リソースフォルダーにはローカルドライブのパスか UNC パスを指定するようにしてください。ネットワークドライブを含むパス (例 N:\transserver\Resources) を指定した場合 3DxSUITE TransServer が正常に動作しない場合がありますので、指定しないでください。

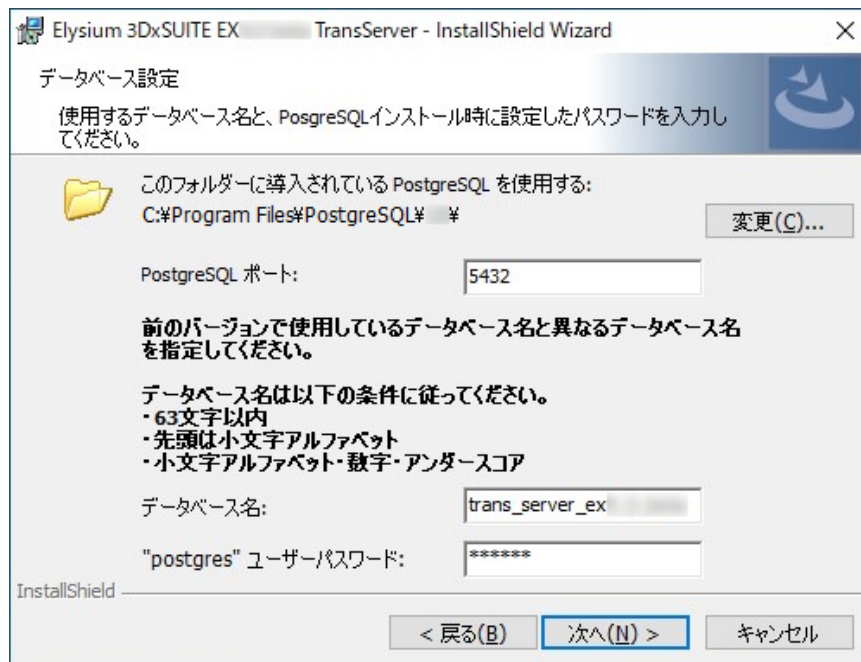
18. Ruby のインストールフォルダーを指定し [次へ] をクリックします。



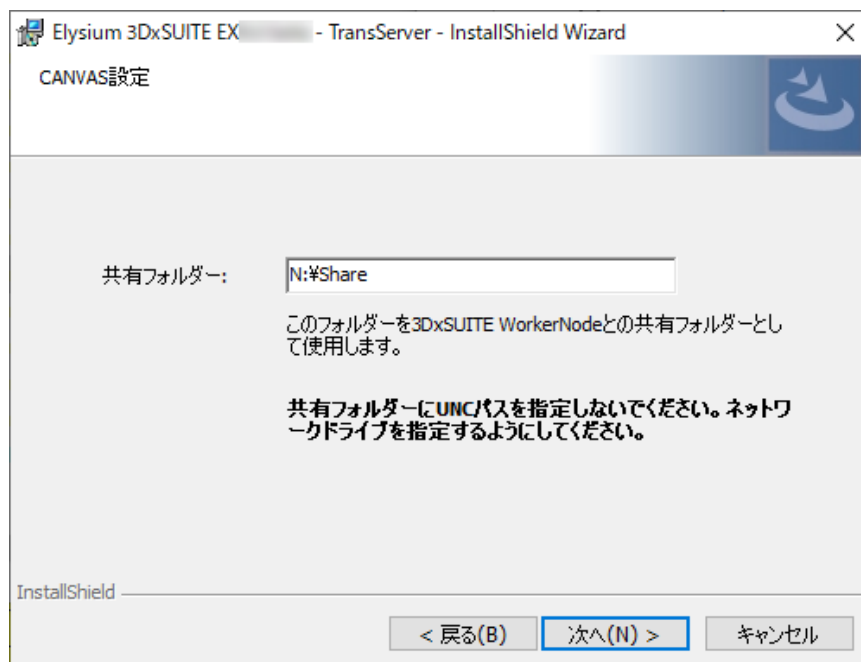
19. エリジオンライセンスが登録されているサーバーのホスト名とポート番号および 3DxSUITE TransServer が使用するポート番号を指定して[次へ]を押します。Elysium ライセンスサーバーは WorkerNode と同じライセンスサーバーを指定してください。



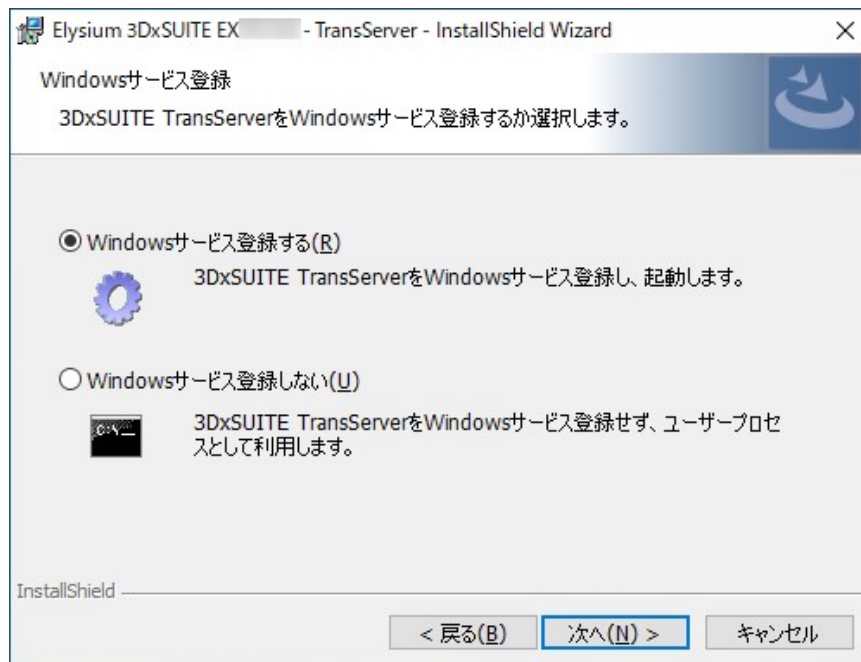
20. PostgreSQL ポートとデータベース名、PostgreSQL の導入時に設定したパスワードを入力します。PostgreSQL ポートは PostgreSQL の導入時に 5432 から変更していなければ、変更する必要はありません。データベース名の初期値として trans_server_ex*_** が指定されています (*_*_* はバージョン番号)。通常は変更する必要はありませんが、初めてのインストールではなく、以前のデータベースが削除されていない場合は、過去に使用したことのないデータベース名を指定してください。



21. 共有フォルダーを指定します。
(例：N:\share)



22. Windows サービスとして登録するか否かを選択します。「Windowsサービス登録する」を選択した場合には、手順 21. に進みます。「Windowsサービス登録しない」を選択した場合には、手順 23. に進みます。



Windows サービスとして登録する場合、コンピューターの起動に併せて 3DxSUITE TransServer も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要がありません。

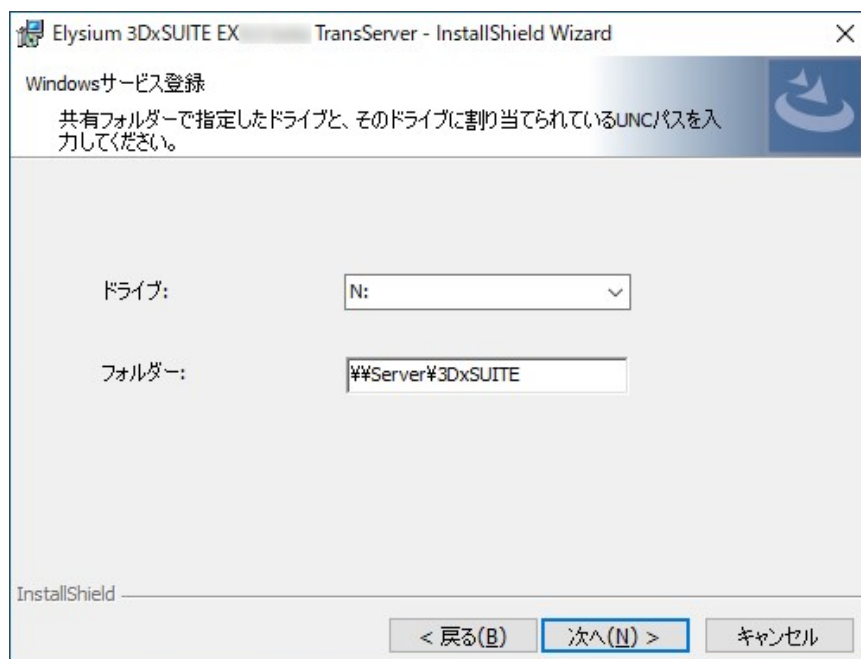
これに対し Windows サービスとして登録しない場合、処理に関する情報がコマンドプロンプトに出力されるため、問題が発生した場合にはより多くの情報を得ることができます。



運用の一例としては、定常的に 3DxSUITE TransServer を稼働させる際にはサービスとして起動し、問題発生時の調査を行う場合や一時的な試験等を実施する場合には対話的ログインで起動するという方法が考えられます。

使用目的や想定される使用状況等を踏まえた上で、適切な方法を選択してください。

23. 共有フォルダーを設定した際と同一の内容を設定して [次へ] を押します。



24. 共有ネットワークフォルダーに対して読み取りおよび書き込みが可能なユーザーのユーザー名とパスワードを入力して [次へ] をクリックします。Active Directory に登録されているユーザーを指定する場合、画面下部の入力欄は空欄のままにしてください。

Elysium 3DxSUITE EX TransServer - InstallShield Wizard

Windowsサービス登録
UNCパスに接続するために使用するログオンユーザーとパスワードを入力してください。

ユーザー名: domain#user
パスワード:
パスワード(再入力):

ActiveDirectory外のユーザーを指定する

ActiveDirectory外のユーザーを指定した場合、UNCパスにアクセスするためのユーザーも指定する必要があり、ユーザー名とパスワードを3DxSUITE TransServerのファイル内に保持します。ファイルの取り扱いにご注意ください。

ユーザー名:
パスワード:
パスワード(再入力):

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Active Directory が導入されていない環境にインストールする場合、および Active Directory に登録されていないユーザーを使用する場合には "Active Directory外のユーザーを指定する" をチェックした上で、画面下部の入力欄に UNC パスに対する読み取りおよび書き込みの権限を持ったユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。

Elysium 3DxSUITE EX TransServer - InstallShield Wizard

Windowsサービス登録
UNCパスに接続するために使用するログオンユーザーとパスワードを入力してください。

ユーザー名: domain#user
パスワード:
パスワード(再入力):

ActiveDirectory外のユーザーを指定する

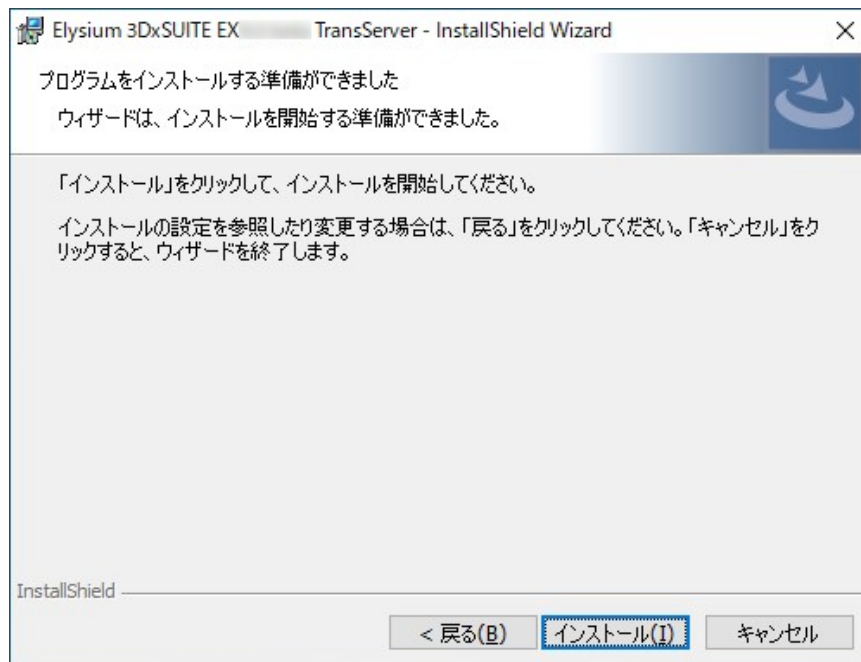
ActiveDirectory外のユーザーを指定した場合、UNCパスにアクセスするためのユーザーも指定する必要があり、ユーザー名とパスワードを3DxSUITE TransServerのファイル内に保持します。ファイルの取り扱いにご注意ください。

ユーザー名: domain#UNCUser
パスワード:
パスワード(再入力):

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

25. [インストール] をクリックします。インストールが開始されます。



26. インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了] をクリックしてダイアログを閉じます。



27. 3DxSUITE TransServer を Windows サービスとして登録した場合には、Windows のサービス一覧を開き、「Elysium 3DxSUITE EX*** TransServer Service」というサービスがあることを確認します(*** の部分はバージョン番号)。サービスが存在し、起動していればインストールは成功です。



- 。サービス一覧は、Windowsキーと Rキーを同時に押すと表示される「ファイル名を指定して実行」ウインドウに「services.msc」と入力して OK をクリックすると表示されます。
- 。サービスが起動していても 3DxSUITE TransServer を使用できない場合があります。そのような場合には、タスクマネージャーを起動して httpd.exe プロセスが実行中であるかを確認してください。

28. 3DxSUITE TransServer 実行ユーザーに対する 3DxSUITE TransServer 導入フォルダーのアクセス許可をフルコントロールに設定します。
29. 以下の手順で WorkerNode の設定を行います。
 - a. スタートメニューの [Elysium 3DxSUITE TransServer] - [3DxSUITE TransServer EX*. * の起動] を選択して、3DxSUITE TransServer を起動します。
 - b. 管理者ユーザーとしてログインし、[管理者機能] - [サービスモニター] を開きます。
 - c. [編集] を選択します。
 - d. [追加] を選択します。
 - e. 追加する WorkerNode のホストとポートを入力した上で [保存] を選択します。



「受信ポート」を指定することで、WorkerNode からの通信を受ける 3DxSUITE TransServer のポートを指定することができます。この項目の入力は必須ではありません。指定しない場合は、エフェメラルポートが使用されます。

30. TransServer に対するファイアウォール経由の通信を許可するよう設定します。
 - a. Windows キーと R キーを同時に押して [ファイル名を指定して実行] を起動します。
 - b. "名前" に "control.exe /name Microsoft.WindowsFirewall" と入力して [OK] を選択します。
 - c. 左側のウインドウで、[Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] を選択します。
 - d. [別のアプリの許可] を選択し、以下のプログラムの通信を許可します。
 - Ruby :
<Ruby の導入フォルダ>\rubies\ruby-2.7.2\bin\ruby.exe
(デフォルトでは C:\ProgramData\Elysium\3DxSUITE\Ruby\2.7.2\rubies\ruby-2.7.2\bin\ruby.exe)
 - Apache HTTP Server:
<TransServer の導入フォルダ>\Apache<Version>\Apache24\bin\httpd.exe
 - e. [OK] を選択します。



手順 26 で受信ポートを指定している場合、この手順は不要です。代わりに、指定した受信ポートへの通信を許可するようにファイアウォールを設定してください。

3.2. バージョンアップする場合

3.2.1. インストール前の注意事項

- 3DxSUITE TransServer EX9.0.5 では、ASFALIS TransServer EX8.2 以降のバージョンからのアップグレードインストールに対応しております。現在 EX8.2 より前のバージョンをご利用の場合は、先に ASFALIS TransServer EX8.2 にアップグレードを行い、その後 3DxSUITE TransServer EX9.0.5 へのアップグレードを行ってください。
- アップグレードインストールを実施する際には、事前に ASFALIS TransServer および 3DxSUITE TransServer を停止してください。
- 以前のバージョンの ASFALIS TransServer もしくは 3DxSUITE TransServer がサービスとして登録されている場合には、事前にサービスを停止して、"スタートアップの種類" を "手動" に変更してください。これは複数バージョンの ASFALIS TransServer および 3DxSUITE TransServer サービスが同時に起動しないようにするためです。手順は以下の通りです。
 1. Windows キーと R キーを同時に押して「ファイル名を指定して実行」ウインドウを開き、「services.msc」と入力して OK をクリックします。
 2. 「3DxSUITE EX** TransServer Service」サービスを停止します。(** の部分はバージョン番号です)
 3. 「3DxSUITE EX** TransServer Service」サービスのプロパティを開き、"スタートアップの種類" を "手動" に変更します。
 4. [OK] を選択してプロパティを閉じます。
 5. アップグレードを実施します。

3.2.2. バージョンアップの実施手順

以下の手順に従ってバージョンアップを行ってください。

1. ダウンロードした以下の 3 ファイルをすべて同じフォルダーに配置します。
 - 3DxSUITE_ex905_installer.exe
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.001
 - 3DxSUITE_ex905_installer.7z.002
2. "3DxSUITE_ex905_installer.exe" をダブルクリックして実行します。3DxSUITE_ex905_installer フォルダーが作成されます。
3. 3DxSUITE_ex905_installer フォルダーに含まれている TransServer フォルダーを、TransServer がインストールされているコンピューターの任意のフォルダーにコピーします。
4. TransServer のインストーラーを実行します。
 - インストーラー: Elysium_3DxSUITE_EX**_TransServer.exe (EX** は TransServer のバージョン)
5. Elysium 3DxSUITE Ruby のインストールおよび TransServer インストーラーの画面遷移は、新規にインストールする場合と同様です。

6. TransServer インストーラーの「インストール先のフォルダー」画面では以下のように指定してください。

「Elysium 3DxSUITE TransServerのインストール先」

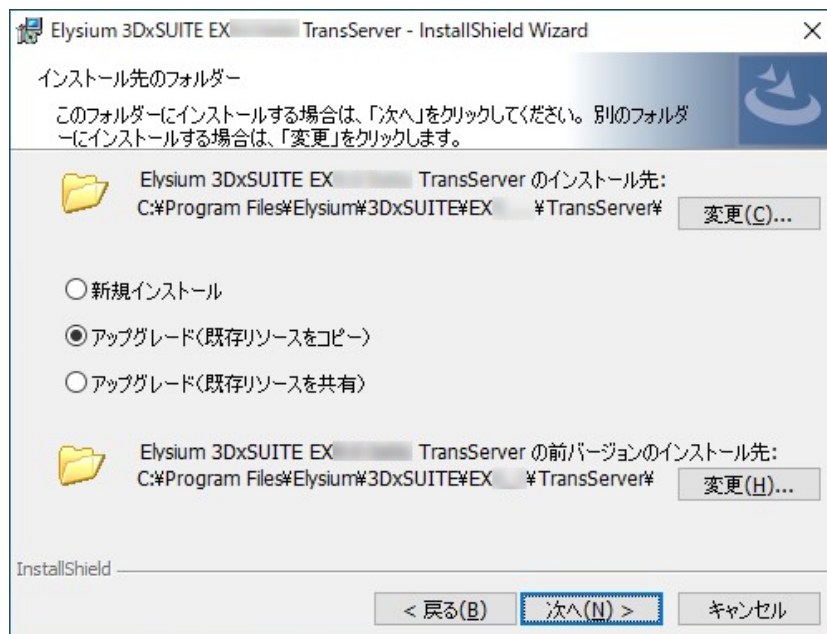
TransServer をインストールするフォルダーを指定します。[変更] ボタンからフォルダーを変更することができます。「Elysium 3DxSUITE TransServerの前バージョンのインストール先」とは異なるフォルダーを指定してください。

「Elysium 3DxSUITE TransServerの前バージョンのインストール先」

前バージョンの TransServer をインストールしたフォルダーを指定します。[変更]ボタンからフォルダーを変更することができます。

"アップグレード(既存リソースをコピー)" または "アップグレード(既存リソースを共有)" を選択します。

- 。アップグレード(既存リソースをコピー)の場合、前バージョンのリソースをコピーして使用します。
- 。アップグレード(既存リソースを共有)の場合、前バージョンのリソースをそのまま参照します。ディスク容量の制限等でリソースの保存先を変更している場合は、こちらを選択してください。



7. 「データベース設定」画面では、PostgreSQLポートとデータベース名、PostgreSQLの導入時に設定したパスワードを入力します。PostgreSQLポートには、利用するバージョンのPostgreSQLが起動しているポートを指定してください。データベース名の初期値としてtrans_server_ex*_*が指定されています(*_* はバージョン番号)。バージョンアップの場合は、必ず **過去に使用したことのないデータベース名を指定してください。**



8. 画面に従ってインストールを進めます。インストールが終わると以下のダイアログが表示されます。[完了]ボタンを押してダイアログを閉じます。



- Windows サービス登録を行う場合には、ネットワーク共有フォルダーの情報を指定する際に、当該フォルダーに対して読み取りおよび書き込みが可能なユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- Active Directoryが導入されていない環境で3DxSUITE TransServerをWindowsサービスとして登録する場合には、ウィザードの中で「Windowsサービス登録しない」を選択してください。その上で手動でサービス登録を実施してください。登録方法については、「Elysium 3DxSUITE インストールガイド」を参照してください。

Windowsサービスとして登録する場合、コンピューターの起動に併せて3DxSUITE TransServer も自動的に起動するため、ユーザーが対話的ログインを行って起動する必要はありません。

これに対しWindowsサービスとして登録しない場合、処理に関する情報がコマンドプロンプトに出力されるため、問題が発生した場合にはより多くの情報を得ることができます。

運用の一例としては、定常的に 3DxSUITE TransServer を稼働させる際にはサービスとして起動し、問題発生時の調査を行う場合や一時的な試験等を実施する場合には対話的ログインで起動するという方法が考えられます。

使用目的や想定される使用状況等を踏まえた上で、適切な方法を選択してください。



9. TransServer を Windows サービスとして登録した場合には、Windows のサービス一覧を開き、「Elysium 3DxSUITE EX*. * TransServer Service」というサービスがあることを確認します(*. * はバージョン番号)。サービスが存在し、起動していればインストールは成功です。



- サービス一覧は、Windows キーと R キーを同時に押すと表示される「ファイル名を指定して実行」ウインドウに「services.msc」と入力して OK をクリックすると表示されます。
- サービスが起動していても TransServer を使用できない場合があります。そのような場合には、タスクマネージャーを起動して httpd.exe プロセスが実行中であるかを確認してください。

10. TransServer 実行ユーザーに対する TransServer 導入フォルダーのアクセス許可をフルコントロールに設定します。

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの
行為をすることは禁じられています。